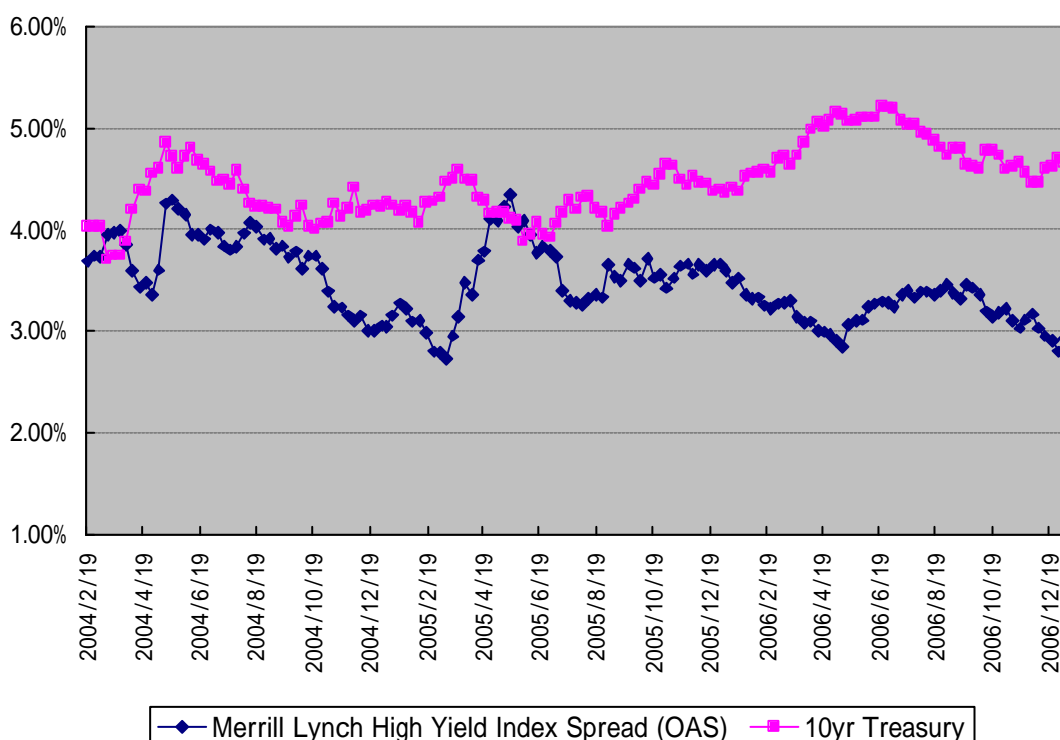


米国社債市場

市場コメント(2月24日~3月2日の週)

さて、ここ数回指摘してきたサブプライム住宅ローンの破綻問題はいよいよ大きくなってきた。きっかけは中国かもしれないが、世界株式市場のわずか2%しかない上海にこの下落の責任を負わせるのは酷だろう。サブプライムそのものは特定のモーゲージバンクの取り扱い商品ではあるが、問題はそれらのインデックスを使用したリ CDS を使用したハイブリット商品の売買が横行しており、それらによってかさ上げされた数字がどのくらいあるのかをお互いに把握し切れていない所である。自分もかなりきわどいかさ上げ行為をやっているからこそ、他人も疑わしいといえるのかもしれない。FMCのCDSが510から突如590に拡大していたり、主要投資銀行のCDSスプレッドが拡大気味なのも気になる所。株価そのものの動向に一喜一憂せず、こういったもう一つ裏にある動向にも注目したい。

ハイ・イールド債券スプレッドと米国10年債利回り



本資料は、証券投資の参考となる情報の提供を目的としており、証券の売買勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。